

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月 福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター教授  
高橋俊文

### 【研究課題名】

生殖補助医療による治療成績を規定する要因に関する研究

### 【研究期間】

2018年8月～2022年3月

### 【研究の意義・目的】

生殖補助医療 (assisted reproductive technology, ART) は、体外受精・胚移植治療 (IVF-ET) に代表される高度不妊治療です。現在わが国では年間、約 40 万周期と世界的に見ても数多くの ART 治療が行われています。一方、出生した児の数は年間約 5 万人であり治療周期当たりの治療成績が低率であると指摘されています。わが国の ART 治療データベースでは、採卵周期 (卵子を採取) と胚移植周期 (受精卵を子宮に戻す) は同じ 1 治療周期としてカウントされることがその要因の一つですが、その他の要因に関する検討はされていないのが現状です。本研究では、日本産科婦人科学会でやっている ART 登録データベースを用いて、ART 治療周期の治療成績を規定する要因を明らかにすることを目的とします。わが国では ART 治療による出生数は全出生数の 1/20 となっており、わが国の ART 登録データベースを用いて治療成績の規定要因を検討することは ART 治療成績を向上させる可能性があり、このことは社会的にも意義の高いものです。

### 【研究の方法】

研究の対象：日本産科婦人科学会の ART 登録参加施設

([http://www.jsog.or.jp/facility\\_program/search\\_facility.php](http://www.jsog.or.jp/facility_program/search_facility.php)) で、2007 年から 2016 年に生殖補助医療 (体外受精、顕微授精、凍結融解胚移植などの治療) に関する治療を受けた患者について、日本産科婦人科学会の ART 登録データベースに登録された全治療周期を対象データとします。ART 登録の全治療周期で、胚移植できた治療周期と胚移植できなかった治療周期について検討を行います。胚移植できた治療周期については、妊娠、生産、流産について、各種パラメータ (治療開始時の年齢、ART の適応、新鮮胚移植周期、融解胚移植周期、移植胚のステージ、移植胚数) を用いて統計解析を行い、治療成績に関するリスク因子を検討します。

### 【研究組織】

ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授 高橋俊文  
ふくしま子ども・女性医療支援センター 講師 太田邦明

### 【他の機関等への試料等の提供について】

該当なし

### 【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用 (コピー代等) をご負担いただきます。

### 【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、本研究の対象となる方（またはその代理人）が情報の利用の停止を求める旨を希望される場合は診療のために受診された施設へご連絡下さい。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター 担当 高橋俊文

電話:024-547-1385 FAX: 024-547-1386

E-mail: totakaha@fmu.ac.jp